

フィールド・トリップ（高齢者コミュニティ）報告

徳田 雅明
(香川大学医学部)

タイ国においても日本においても、老化は共通の重要課題である。今回のシンポジウムのメインテーマとして、Healthy Aging Society（健康な高齢社会）を取り上げることを、両大学の組織委員会で決定した。それを受けて8月25日には、チェンマイの高齢者および日本人の高齢在住者が実際にどのような生活をしているのかを Field trip で見学し、問題点の抽出を行った。参加者は、香川大学側が約30名、チェンマイ大学側が約10名の約40名であった。以下のプランで実施した。

☒ Visit Japanese Elderly Habitat, Mae Rim District, Chiang Mai

Guided by Dr. Masaaki Tokuda

1. Why they want to live in Chiang Mai
2. Their activities
3. Advantage and disadvantage in living in Chiang Mai
4. Others

☒ Visit Chiang Mai Elderly Group, Sarapee District, Chiang Mai

Accompanied by Dr. Chayan Vaddhanaphuti

1. Meet them at the hospital and observe their activities
2. Visit individual house
3. Others

1) 日本人居住地区（チェンマイロングステイ・ライフ・クラブ CLL の会）の訪問

事前にチェンマイ大学医学部 Dr. Siwaporn と共に CLL の方々と打ち合わせをした結果、CLL 事務局ではなく、会員の一人木村氏の個人宅（Mae Rim 地域）を訪問することにした。

当日は CLL の会員の方々が10名以上自宅で迎えてくださった。まず CLL から、我々を歓迎する歌の披露があった（右写真）。その後に CLL の活動についての簡単な説明があった後に、10名程度4つのグループに分かれて、ディスカッションを行った。特に CLL の方々から、チェンマイに住むことのメリットとデメリットを伺いながら、大学として貢献できる問題点の抽出に重点を置きとりまとめを行った。



その結果以下のような点がピックアップされた。

チェンマイに住むことの利点

1. 人が優しい。
2. 文化的にもなじみやすい。
3. 物価が安い。
4. 住居。
5. 自然が美しい。
6. 食事がおいしい。
7. 趣味があう。
8. 安全である。
9. 日本領事館がある。

チェンマイに住むことでの問題点

1. 健康への不安
2. 日本人に合う介護者の必要性
3. 食の安全
4. ボランティア活動の制限
5. 交通問題
6. 公害

2) チェンマイ高齢者居住地区 (サラピー)

次いで Chayan 先生の案内で、チェンマイ市の南部に位置するサラピー地区の老人グループを訪問した。本地域の高齢者は地域の公立ヘルスセンターを活用して、活動の拠点としている。

病気のコントロールだけでなく、様々な文化活動やボランティア活動などを展開している。今回の我々の訪問に対して歓迎の踊り兼健康体操を披露してくれた。(写真)



その後、小グループに分かれて、彼らの家を訪問し、生活状況や暮らしぶりを見学させてもらった。

3) Healthy Aging Society フォーラム

フィールドトリップを受けて、8月26日にフォーラムを行い、以下のような発表や議論が行われた。

1. Dr. Satoshi Murayama, Faculty of Education, Kagawa University

日本の Aging の現状を歴史的な人口統計学的解析で分析、家族構成の変化を分析紹介した。

2. Dr. Yu Nakamura, Faculty of Medicine, Kagawa University

日本の高齢者の精神神経疾病、特にうつ病の増加について紹介した。

3. Dr. Pongsiri Prathanadee, Professor Emeritus, Chiang Mai University

タイ国の老化についての現状と分析、対策について紹介した。

4. Dr. Siwaporn Chankrachang, Faculty of Medicine, Chiang Mai University

タイ国の認知症の現状と挑戦について紹介した。

5. Dr. Chayan Vaddhanaphuti, Director, Regional Center for Social Science and Sustainable

Development (RCSD), Chiang Mai University

タイ国の老化の問題をサマライズした。

6. Dr. Masaaki Tokuda, Faculty of Medicine, Kagawa University

25日のフィールドトリップで抽出した問題点を紹介した。

7. Mr. Manusaporn Bhamorbutr, Social Development and Human Security Office, Chiang Mai

チェンマイ市として捉えている問題点とその対応施策について紹介した。

8. Free discussion

- ・抽出した問題点、特にチェンマイ在住の日本人の直面している問題点について議論を展開した。
- ・健康問題については The Medical Hub Strategy を展開、通訳の供給や介護者の養成
- ・インターネットなどの環境の整備、3G環境などを確立する。
- ・文化交流やボランティア活動などが円滑にできるように努力する。
- ・公共交通機関の整備を行う。
- ・大気汚染の改善を行う。